

事業者行動計画書（変更計画書）

2018年 7月 31日

（宛先）

滋賀県知事殿



提出者

住所 滋賀県守山市小島町515番地

氏名 旭化成株式会社 製造統括本部
守山製造所 製造所長 榎園 博文

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 第20条第3項・第20条第4項
第22条第1項→第22条第2項において準用する同条例第20条第4

項]の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	旭化成株式会社 製造統括本部 守山製造所 製造所長 榎園 博文
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	滋賀県守山市小島町515番地

1 事業所の概要

事業所の名称	旭化成株式会社 製造統括本部 守山製造所				
事業所の所在地	滋賀県守山市小島町515番地				
主たる事業	細分類番号	1	8	2 1	プラスチックフィルム製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間 3,000 トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者				

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

参考様式（第1面）

1 計画期間

計画期間	2018年度 ～	2022年度
------	----------	--------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

旭化成グループ理念の『世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献します。』と、グループビジョンの『「健康で快適な生活」と「環境との共生」の実現を通して、社会に新たな価値を提供していきます。』を掲げております。
旭化成グループの低炭素社会への取り組みの1つとしては、「温室効果ガスの削減」を掲げております。

守山製造所の低炭素社会への取り組みとしては、下記事項を行っています。

- ①守山製造所のエネルギーの使用の合理化に関する事項の推進と管理全般
- ②守山製造所全体のエネルギー使用の合理化に関する将来計画の設定と合理化の状況に応じた見直し
- ③各部場のエネルギーの使用の合理化技術に関する指導及び支援
- ④守山製造所のエネルギー使用の合理化に関する基準類の整備
- ⑤部場の記録に関する指導、監査並びに問題点の審議
- ⑥部場の報告に関する指導及び支援
- ⑦守山製造所として、法並びに行政指導に基づく記録及び報告のまとめ
- ⑧省エネに関する従業員への啓蒙・啓発活動
- ⑨その他エネルギー削減委員会の特命事項

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

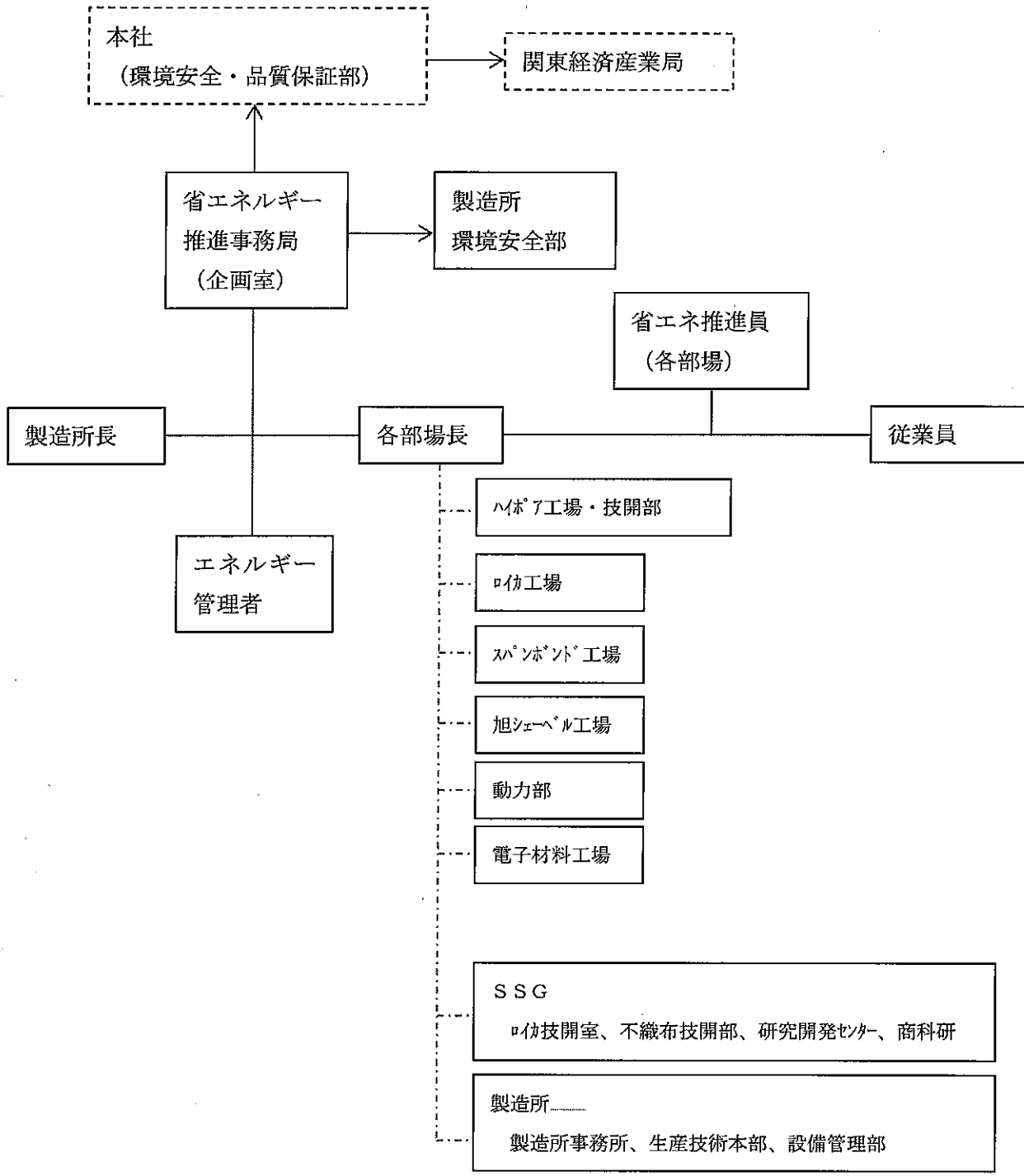
別紙参照して下さい。

注：組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

- ①用水ポンプや空気圧縮機のインバータ機導入。
- ②事務所等の照明機器を蛍光灯からLED管への取り替え。
- ③エネルギー効率の高いガスタービンコジェネ設備の導入。
- ④ガス圧縮機の都市ガス吸い込み圧力アップ。
- ⑤電力や蒸気のデマンド及び買電やガスタービン発電設備の稼働状況に応じた最適運転化。
- ⑥年間を通じたガスタービン発電設備の吸気温度の最適化。
- ⑦受電設備の設備稼働状況に合わせた進相コンデンサーの最適な運転。
- ⑧空調機の温度設定を冷房は28℃以上、暖房は19℃以下とする。
- ⑨グリーン購入判断基準に適合した事務用品等の選定と購入を推進する。

エネルギー管理組織



参考様式（第2面）

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	計画	実績
			実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入対策	高効率圧縮機へ1台更新（6000NM ³ ）	2018年度	
2	設備導入対策	高効率圧縮機へ1台更新（6000NM ³ ）	2019年度	
3	設備導入対策	高効率照明器具への更新（LED照明600本）	2018年度～ 2019年度	
4	設備導入対策	GTCC導入による電気需要の平準化	2020年度	
5				
6				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	計画	実績
			実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方(計画)

上記(1)の取組みにより、2022年度のエネルギー原単位を、2018年度を基準年度とし、過去5年度間のエネルギー使用に係る原単位を年平均1%以上改善することを目標とする。

$$\text{エネルギー原単位} = (\text{エネルギー使用量(A)} - \text{販売したエネルギー量(B)}) (\text{原油換算:kL}) / (\text{生産数量(換算量):千m}^2)$$

(4) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価(実績)

--

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等 (計画)

--

(2) 取組の実施状況 (実績)

--

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	計画	実績
			実施スケジュール	取組の実施状況
1	グリーン調達	既存グリーン購入比率100%継続	2018年度～2022年度	
2	ゼロエミッション	ゼロエミッション99.99%以上の維持	2018年度～2022年度	
3				